

第3学年 国語科学習指導案

令和7年11月10日

校名	A校	B校	C校	D校	合計
児童数	4	2	1	8	15名
指導者	A教諭	B教諭	C教諭	D教諭	4名

授業者(T1) A教諭

単元・教材名	単元名 すがたをかえる大豆 食べ物のみみつを教えます
本時の目標	ア 文章を読み合い、友達の文章のよいところを見つけるポイントを理解し、自分の文章のよさにも気付くことができる。 【知識・技能】 イ 友達のよいところを伝え合うことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ウ 友達の発表を聞いたり、読んだりしてよいところを見つけようとしている。 【主体的な学習態度】
本時(12/12)	

指導計画（本時12/12）

- 大豆について知っていることを話し、教材文を読み学習課題を設定し、学習計画を立てる。
- 「初め」「中」「終わり」の文章の組み立てを確かめ、「中」の具体例を整理する。
- 「初め」に「問い」を入れるなら、どこに、どのような文を入れるか考える。
- 「中」の書かれ方を考え、どのような順序で例が挙げられているか捉える。
- 筆者の説明の工夫をまとめ、考えを交流する。
- 食べ物について書かれた本を読み、感想を友達に伝える。
- 「問いをもとう」「もくひょう」を基にこれからの学習を整理する。
- 取り上げる材料を決め、調べたことを表などにする。
- 文章の組み立てと、具体的な例の書き方や順序を考える。
- 10・11 考えた組み立てに沿って説明する文章を書く。
- 12 友達と感想を交流し、「ふりかえろう」を基に単元の学習を振り返る。

研究の視点に関する活動について

視点1 個別最適な学びを充実させる取組	視点2 協働的な学びを充実させる取組	視点3 遠隔合同授業の体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> 友達のよさを見つけるためのポイントを授業の最初でおさえるとともに、各学校にも黒板に掲示してもらうようにする。 学習の流れを示し、見通しをもって進められるようにする。 ワークシートは、各学校の実態に応じたものを使用してもらい、一人一人が自信をもって発表できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童主体のグループ活動ができるように、活動の進め方を例示する。 いろいろな考えに触れられるように、複数のグループでメンバーを入れ替わりながら、同じ食材や違う食材の文章を聞けるようにする。 自由な意見、考えを言いやすいような雰囲気作りに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 低学年までの遠隔合同授業の経験を生かし、3年生では自分たちで発表や話し合い活動を進められるように、手順や進め方を整理し児童が取り組みやすくする。 ブレイクアウトルームの操作方法や機器操作について、授業の中で確認をするとともに、学級にも掲示などをしてもらい、適宜T2の教師にも対応をお願いする。 評価の仕方、見取り方などの共通認識を図る。

本時の指導にあたって

これまでに児童は遠隔授業を重ねてきて、機器操作の仕方や画面越しの友達との関わり方は習得してきている。3年生では、これまで教師が行っていたファシリテーターの役割を児童が行えるようになることを目的として行いたい。そのために、本時の授業までにブレイクアウトルームを使った遠隔授業を行い。操作にも慣れさせておく。また、「つかむ・見通す」段階で、自分で友達のよいところを見つけることができるように、ポイントをおさえておき、友達とよいところを1つでも自分で言えるようにする。また、なかなか言い出せない児童については、事前に担任間で共有しておき、声かけをT1、T2でできるようにしたい。ブレイクアウトルームの編成は、食材に関係なく組んでおき、いろいろな考えにたくさん触れる機会をつくる。「まとめる・広げる」では、全体のまとめを行う前に、個人で振り返りの時間を確保し、その振り返りを本時のまとめとし、自分の言葉で活動を振り返り、自分の文章のよさにも気づけるようにし、各担任で見取りができるようにする。

本時の実際 (12 / 12)

過程	学習活動の流れ	時間	指導上の留意点 ○教師の手立て ※評価
導入	<p>1 前時までの学習を振り返り、学習課題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>友達と読み合って、よいところを見つけよう。</p> </div> <p>2 本時の学習を見通す。 ①発表②感想の伝え合い③次の人</p>	8	<p>○ 全員に同じ指示を出すために、教師の画面を共有する。</p> <p>○ 自分で友達のよいところを見つけられるようにするため、ポイントを示す。また、そのポイントを各学校の黒板にも掲示してもらう。 【目標の明確化】</p> <p>○ 自分がどんな活動をするのか見通しをもって活動できるように、画面共有をしながら、全体で把握する時間を設定する。</p>
展開	<p>3 クループに分かれて発表を行う。 (ブレイクアウトルーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1つのグループで約10分 ・ 早く終わったら、自分が気づいた友達のよいところや、自分の文章のよいところをノートにメモする。 ・ 2つめのグループでも同様の活動をする。 	27	<p>○ ブレイクアウトルームに入ったあと、自分たちで発表を進められるように、発表の進め方を確認しておく。</p> <p>○ いろいろな考えや発表内容に触れられるようにするため、複数のグループで発表を行うようにする。【山場の工夫】</p> <p>○ 複数のブレイクアウトルームを使用するため、事前にグループを割り振り、児童に把握させておく。また、黒板にも掲示できるようにする。</p> <p>※文章を読み合い、友達の文章のよいところを見つけるポイントを理解し、自分の文章のよさにも気付くことができたか。(ア)</p> <p>※ 友達のよいところを自分で見つけて、伝えることができたか。(イ)</p>
まとめ	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>友達の文章にも、自分の文章によいところがあった。</p> <p>○○が△△からできていることを初めて知った。</p> </div> <p>6 遠隔合同授業のまとめをする。</p>	10	<p>○ 各学校の実態に合わせて振り返りができるように、ノートに書く時間を設ける。</p> <p>○ 自分の文章のよさに気づけたか確かめるために、自分の文章のよさについても簡単にまとめるようにする。【確かめ・見届け】</p> <p>※ 友達の発表を聞いたり、読んだりしてよいところを見つけようとしていたか。(ウ)</p>

評価

ア 文章を読み合い、友達の文章のよいところを見つけるポイントを理解し、自分の文章のよさにも気付くことができる。【知識・技能】

イ 友達のよいところを伝え合うことができる。【思考力・判断力・表現力】

ウ 友達の発表を聞いたり、読んだりしてよいところを見つけようとしているか。【主体的な学習態度】